



KABANET



Facebook



LINE



Twitter



Blog



くらしの相談
検索システム

発行日:令和2年4月28日(No.022)

発行所:トヨタ自動車労働組合

発行人:鬼頭 圭介

編集人:井出 悟

印刷所:豊田共栄サービス㈱



井出さとる

くらしの相談
担当者
レポート

討議資料



報告① 運動公園南交差点の右折レーン設置改良が目前です

これまで、朝の出勤時間帯に、国道 246 号兎島交差点方面への渋滞が指摘されていた運動公園南交差点ですが、現在、右折レーンの工事が行われています。(このレポートがお手元に届く頃は、完成しているかも)

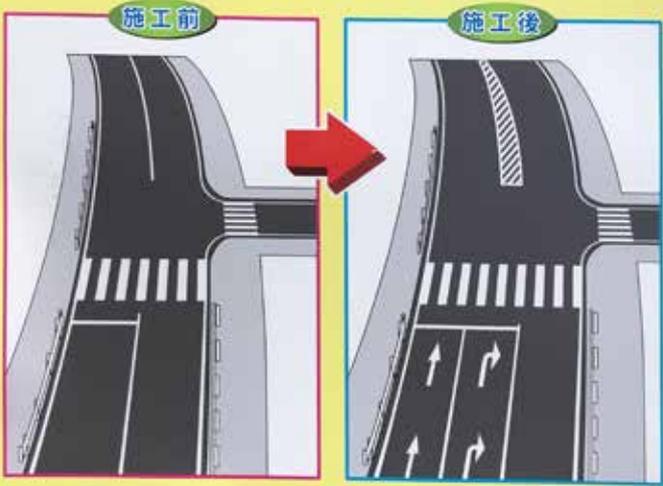
右折レーン設置の対策までの間は、信号機のタイミングを調整するなどの対応で「しのいで」きましたが、ようやく



改良工事へと進んできました。

3月28日には東名下り駒門スマートインターが開通し、富士山方面、または御殿場高原方面への観光ルートの入り口となることが想定されます。2020 東京オリンピック・パラリンピックが延期となりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が終息した際には、富士山方面への新しいアクセスルートを活用し、観光地の賑わいを取り戻すことが次に為すべきことだと考えます。

交差点改良工事をしています 右折レーンが増えます!



報告② 令和 2 年度の特徴的な事業 (SDCC 構想の具現化に向けた取り組み)

1月7日のCESの「Woven City」の発表を受け、裾野市はスソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ構想 (SDCC 構想)」を発表しました。SDCC 構想の計画期間は 2035 年までの概ね 15 年間で想定しているとのこと。

まだ SDCC 構想の詳細はまだですが、「市民・関係団体・NPO・市内企業等と協働・連携し、最新の知見を持つ企業、大学等の有識者、国・県等から技術提案やアイデアをいただきながら、オープンイノベーションによって具現化していきたい」との考えを示しています。

また、トヨタ、県、国、東京大学等、産官学の既存の枠組みや制度を活かしたコンソーシアム (協議会) を立ち上げるとも表明しています。SDCC 構想の具現化を加速するためには、行政の意識改革も重要だと考えます。



裾野市 HP) SDCC 構想

目指す姿:豊かな自然と調和する次世代型近未来都市 スソノ・デジタル・クリエイティブ・シティ



※ KABANET のアクセス) ID:KABA PW:2019

報告③ 一般質問) 新東名スマートインターの設置、新産業集積の提案



私はこれまで、裾野市内の産業・観光発展のために「新東名のスマートインターが必要」との考えを示し続けています。裾野市の答弁とは大きな考えの乖離があります。

新東名との接続と新産業の集積は、次世代技術を実証できる世界の聖地になろうとする今だからこそ、行政がやるべき重要事項です。



質 静岡県にはファルマバレー、フォトンバレー、フードサイエンスの3つの産業集積プロジェクトがある。Woven City で想定されている技術はいずれも当てはまらない。裾野市発で新産業集積を提案したらどうか。

また、新東名のスマートインター設置は過去に「これ以上研究しない」と示しているが、新産業集積の可能性が生

まれた今だからこそ、設置可能性の再調査をしたらどうか。

答 どのような産業が集積できるか不明瞭だが、将来に向かって期待ができる。可能性を研究したい。

新東名のスマートインターの設置に必要な道路の設置が技術的に難しいという認識は変わっていない。現時点で再調査は考えていない。

報告④ 行政がアクセルを"もっと"踏めるよう、議会が背中を後押し！

トヨタ実証都市支援決議

裾野市議会は15日、臨時会を開き、トヨタ自動車が生産する実証都市の実現に向けて支援するとして議員提出の決議案を可決した。

「裾野市の明るい未来の実現に向けた取り組みに関する決議」と題した決議では、トヨタ自動車の実証都市を「裾野市政で歴史

裾野市議会は15日、臨時会を開き、「市政で歴史的出来事」と位置付け、市議会として全力で取り組む方針を示した。

また、総額8500万円を追加する2019年度一般会計補正予算案、大規模太陽光発電所(メガソーラー)設置を規制する条例案を可決し、閉会した。

年明け早々に、臨時会が開催されその中で、行政の取り組みを全面的に支援する決議を採択しました。1月7日のCESの「Woven City」の発表によって、裾野市は全世界から注目されることとなりました。決議案は議会の全会一致で可決することが重要なため、CESの発表から僅かな期間ではありましたが、会派で徹底的に造り込み、リーダーシップをとって取りまとめました。

大切なことは、議会としての機動力を発揮し、変化の激しい情勢に対し、失敗を恐れず果敢にチャレンジしていくことが、ますます求められていきます。行政も議会も変化への対応が強い組織ではありません。自ら「殻=限界」を破って飛び込もうという組織の意識改革が必要です。

感染防止は ↓ + 3つの密 (密閉空間、密集場所、密接場面) の防止徹底を！



私の所属している会派「未来すその」で、「3つの密」を少しでも防ぐ観点と、生産的かつ効率化につながるよう「Zoom」というビデオ会議システムが活用できるようにトレーニングを始めました。

WiFi や 4G でミーティングを実施しましたが、想定以上の音質・映像で手応えを実感しました。今後も議会活動のIT徹底活用に向けた取り組みを進めます。

